

平成 24 年 12 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 U M N ファーマ
 代 表 者 名 代表取締役社長 平野達義
 (コード番号：4585 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取締役財務部長 橋本裕之
 TEL. 045-624-8341

東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日平成 24 年 12 月 11 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、平成 24 年 12 月期における当社グループの業績予想は次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	平成 24 年 12 月期 (予想)			平成 23 年 12 月期 (実績)		平成 24 年 12 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	100	100.0%	10.0%	1,000	100.0%	—	—
営 業 損 失(△)	△2,049	—	—	△1,075	—	△1,614	—
経 常 損 失(△)	△2,609	—	—	△1,080	—	△2,181	—
当期(四半期)純損失(△)	△1,991	—	—	△477	—	△1,609	—
1 株 当 たり 当 期 (四半期)純損失(△)	△419.77 円			△106.87 円		△353.29 円	
1 株 当 たり 配 当 金	—円			—円		—円	

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	平成 24 年 12 月期 (予想)			平成 23 年 12 月期 (実績)		平成 24 年 12 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	100	100.0%	10.0%	1,000	100.0%	—	—
営 業 損 失(△)	△1,435	—	—	△627	—	△1,061	—
経 常 損 失(△)	△1,359	—	—	△588	—	△986	—
当期(四半期)純損失(△)	△1,362	—	—	△229	—	△988	—
1 株 当 たり 当 期 (四半期)純損失(△)	△287.12 円			△51.41 円		△216.96 円	
1 株 当 たり 配 当 金	—円			—円		—円	

(注) 1. 平成 23 年 12 月期(実績)及び平成 24 年 12 月期第 3 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純損失は、期中平均発行株式数により算出しております。

2. 平成 24 年 12 月期(予想)の 1 株当たり当期純損失は、公募予定株式数(2,150,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大 427,500 株)は考慮しておりません。

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社UMNファーマ

コード番号 4585 URL <http://www.umnpharma.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 達義

問合せ先責任者(役職名) 取締役財務部長 (氏名) 橋本 裕之 (TEL) 045(624)8341

四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業損失		経常損失		四半期純損失	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	—	—	1,614	—	2,181	—	1,609	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 $\Delta 2,185$ 百万円(—%) 23年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり四半期純損失	潜在株式調整後1株当たり 四半期純損失
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	353.29	—
23年12月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	8,608	1,936	20.9
23年12月期	3,812	2,824	63.2

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,798百万円 23年12月期 2,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	100	—	$\Delta 2,049$	—	$\Delta 2,609$	—	$\Delta 1,991$	—	$\Delta 419.77$	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）
除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	4,786,700株	23年12月期	4,516,600株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	－株	23年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	4,557,016株	23年12月期3Q	4,454,951株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他注記情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向が見られましたが、欧州債務危機による世界経済の下振れや円高の進行などの影響を受け、先行きに関して不透明な状況で推移いたしました。

わが国医薬品業界においては、医療費抑制策により医療用医薬品市場の伸びが鈍化しており、グローバル医薬品開発による世界市場での展開が一層重要になっております。

このような環境の中にあつて、当社は、アステラス製薬株式会社と提携した「UMN-0502」（組換えインフルエンザHAワクチン（多価）、以下、「UMN-0502」といいます。）、「UMN-0501」（組換えインフルエンザHAワクチン（H5N1）、以下、「UMN-0501」といいます。）及び世界保健機関（World Health Organization：WHO）がH5N1とともにパンデミック発生の可能性を指摘しているH9N2亜型に対する「UMN-0901」（組換えインフルエンザHAワクチン（H9N2）、以下、「UMN-0901」といいます。）の開発に資源を重点的に配分し研究開発を進めてまいりました。UMN-0502については、アステラス製薬株式会社による本年秋からの第Ⅲ相臨床試験の実施に向けた準備を進め、平成24年8月31日に第Ⅲ相臨床試験に係る治験届を当局に申請するに至りました。また、UMN-0501についても、第Ⅱ相臨床試験において、免疫原性と安全性が確認されたことを平成24年3月13日にアステラス製薬株式会社とともに発表し、第Ⅲ相臨床試験に向けた準備を開始いたしました。

また、これら既存開発プロジェクトに加えて、開発パイプラインの拡充を図るため、平成24年1月23日に、フィンランド・タンペレ大学ワクチン研究センターのティモ・ヴェシカリ教授、ヴェスナ・ブラゼヴィッチ博士と、ノロウイルス・ロタウイルス混合ワクチンの全世界における独占的事業化権に関するライセンス契約を締結し、基礎研究を開始いたしました。

製造施設については、当社連結子会社である株式会社UNIGENが、組換えインフルエンザHAワクチンを初めとするバイオ医薬品の国内生産拠点を整備する目的で申請しておりました、経済産業省「平成23年度国内立地推進事業費補助金」一次公募対象事業に、平成24年2月3日付にて採択されたことを受けて、平成24年3月1日より、当社グループにおける生産拠点として、岐阜県揖斐郡池田町にて岐阜工場の建設を開始いたしました。また、秋田県秋田市に建設した秋田工場では、UMN-0502のGMP体制下での試製造を開始いたしました。これらの生産施設整備に係る活動の結果、当社グループは、UMN-0501及びUMN-0502の開発・販売パートナーであるアステラス製薬株式会社に対する製品供給体制整備が着実に進んでおります。

これら製造施設の稼働率向上を目指し、当社開発パイプライン以外のバイオ医薬品受託製造（Biopharmaceutical contract manufacturing organization、以下、「BCMO」といいます。）を行うべく、平成24年7月13日付にて、アピ株式会社と「BCMO事業協業に関する基本合意書」を締結し、新規事業として準備活動を開始いたしました。

財務面については、岐阜工場の建設資金に充当すべく、当社連結子会社である株式会社UNIGENにおいて、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする総額10,500,000千円のシンジケートローン契約を金融機関10社と締結し、平成24年3月2日に第1回目の借入を実行、また平成24年6月29日に、第2回目の借入を実行いたしました。株式会社UNIGENにおける財務基盤強化を目的として、平成24年6月12日付にて、当社及び株式会社IHIより、それぞれ

れ301,500千円及び298,500千円の第三者割当増資を実施いたしました。また、当社においても、財務基盤の強化を目的として、平成24年8月21日付にて、999,370千円の第三者割当増資を実施いたしました。さらに、平成24年9月28日付にて、株式会社UNIGENにおいて、岐阜工場の追加建設資金に充当すべく、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする2,500,000千円のシンジケートローン契約を金融機関4社と締結いたしました。

以上の活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高の計上はありませんでした。一方、提携先と各開発パイプラインの研究開発、秋田工場における試製造費用及び岐阜工場への設備投資を積極的に進めたことにより、営業損失は1,614,018千円、経常損失は2,181,511千円、四半期純損失は1,609,944千円となりました。

なお、当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績に関する記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,608,957千円と、前連結会計年度末に比べ4,796,353千円増加いたしました。これは主に、売上債権が減少したものの、岐阜工場の建設進行に伴う有形固定資産が増加したことによるものであります。

総負債は6,672,471千円と、前連結会計年度末に比べ5,684,055千円増加いたしました。これは主に、長期借入金6,037,500千円の増加によるものであります。

純資産は1,936,485千円と、主に四半期純損失を1,609,944千円計上したことにより、前連結会計年度末に比べ887,701千円減少いたしました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ191,806千円増加し、1,643,377千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失2,181,511千円を計上しましたが、売上債権の減少額1,050,000千円を計上したこと等により、680,063千円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5,865,195千円を計上したこと等により、5,875,049千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入5,655,000千円を計上したこと等により、6,746,919千円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年9月30日)

資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,643,377
原材料及び貯蔵品		35,569
前渡金		47,314
その他		78,423
流動資産合計		1,804,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)		428,968
機械及び装置(純額)		90,999
建設仮勘定		5,953,257
その他(純額)		108,011
有形固定資産合計		6,581,236
無形固定資産		
投資その他の資産		191,079
固定資産合計		6,804,271
資産合計		8,608,957
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金		37,500
未払金		207,226
未払法人税等		10,630
その他		14,490
流動負債合計		269,848
固定負債		
長期借入金		6,037,500
長期預り金		340,332
資産除去債務		19,870
その他		4,920
固定負債合計		6,402,623
負債合計		6,672,471

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	3,706,085
資本剰余金	3,375,085
利益剰余金	△5,275,157
株主資本合計	1,806,012
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△7,089
その他の包括利益累計額合計	△7,089
少数株主持分	137,563
純資産合計	1,936,485
負債純資産合計	8,608,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
販売費及び一般管理費	1,614,018
営業損失(△)	△1,614,018
営業外収益	
受取利息	277
助成金収入	36,190
その他	3,525
営業外収益合計	39,992
営業外費用	
支払利息	48,077
支払手数料	552,526
その他	6,881
営業外費用合計	607,485
経常損失(△)	△2,181,511
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,181,511
法人税、住民税及び事業税	4,350
法人税等調整額	△523
法人税等合計	3,827
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,185,338
少数株主損失(△)	△575,394
四半期純損失(△)	△1,609,944

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,185,338
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△232
その他の包括利益合計	△232
四半期包括利益	△2,185,571
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,610,177
少数株主に係る四半期包括利益	△575,394

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,181,511
減価償却費	86,705
受取利息	△277
支払利息	48,077
支払手数料	552,526
助成金収入	△36,190
売上債権の増減額(△は増加)	1,050,000
預り金の増減額(△は減少)	△154,068
その他	66,054
小計	△568,683
利息の受取額	325
利息の支払額	△47,578
法人税等の支払額	△5,071
その他	△59,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	△680,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,865,195
その他	△9,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,875,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	5,655,000
長期借入金の返済による支出	△200,000
株式の発行による収入	995,872
少数株主からの払込みによる収入	296,400
その他	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,746,919
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191,806
現金及び現金同等物の期首残高	1,451,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,643,377

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月21日付で、第三者割当増資を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が499,685千円、資本準備金が499,685千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,706,085千円、資本準備金が3,375,085千円となっております

(7) その他注記情報

該当事項はありません。